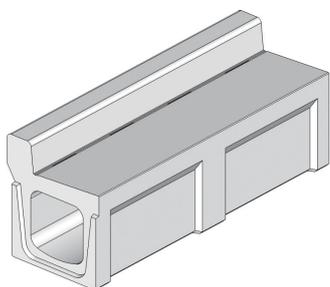


6形暗渠



路側工において、通常は歩車道境界ブロックと排水構造物(円形側溝)を設置しますが、別々に施工するため、どうしても手待ちが発生しています。

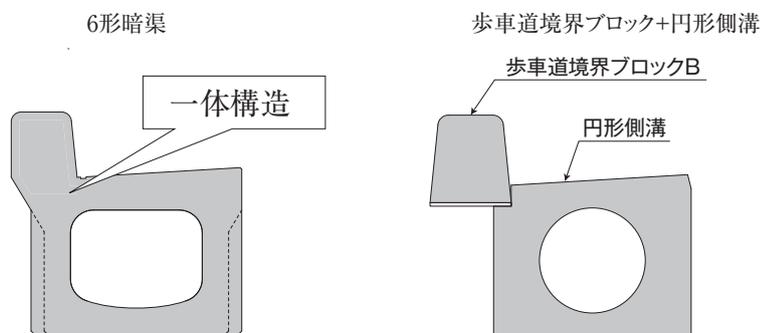
そこで6形暗渠(ロクガタアンキョ)は、歩車道境界ブロックB種と円形側溝を「**一体構造**」としました。製品を据える事で、路側工と排水構造物工が同時に完成します。

また、エプロン部の幅が同じ500mmの円形側溝と比較すると、6形暗渠の方が**通水断面が大きい**ので、排水流量を多く取ることができます。製品種類についても、グレーチングを備えた取水用や集水柵、横断用などご用意いたします。

6形暗渠は、「**施工の省力化、工期短縮、コスト削減**」に対応した製品です。

■一体構造

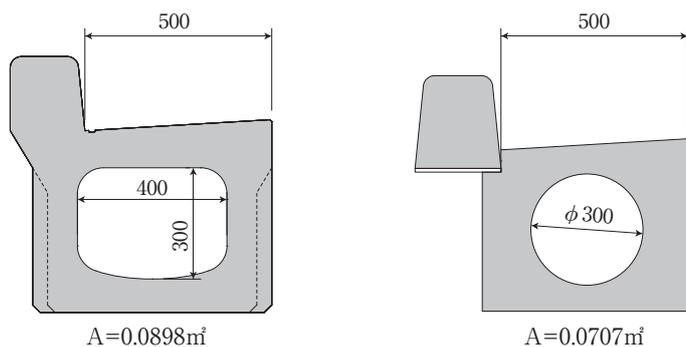
2つの工種(排水構造物工と路側工)の製品を一体構造としました。



■通水断面が大きい

円形側溝と比較すると通水断面が大きいので、排水流量を多く取る事ができます。また通水面がアーチ形状のため掃流力があり、泥・ゴミ等がたまりにくくなっています。

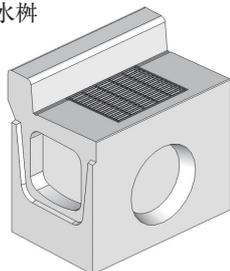
6形暗渠400A(400×300)と円形側溝φ300との比較



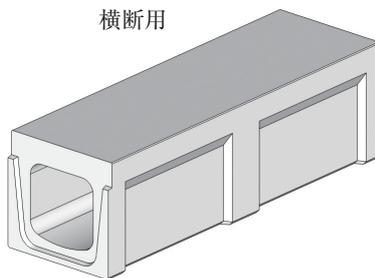
■製品種類

フラット、セミフラット、マウンドアップ型に対応した各種製品を御用意いたします。

集水柵

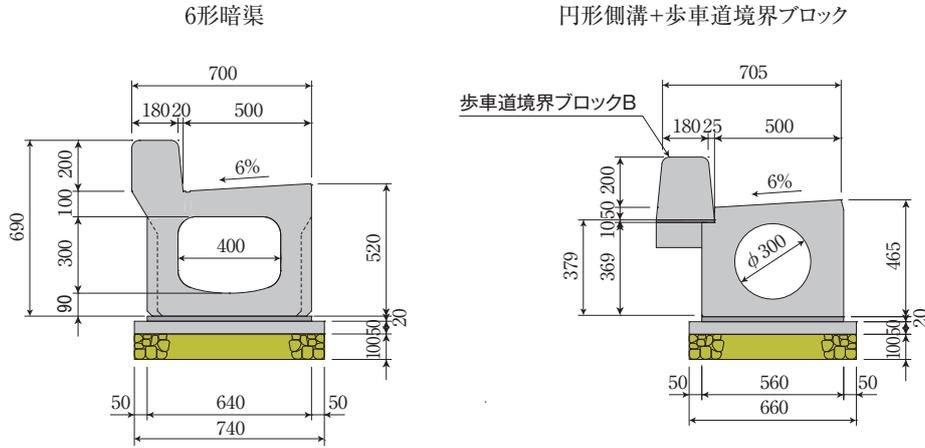


横断用

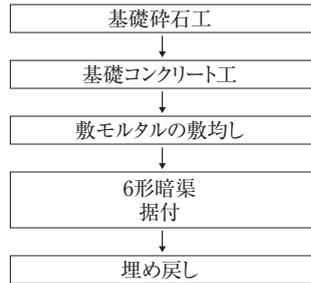


6形暗渠

■施工工程比較



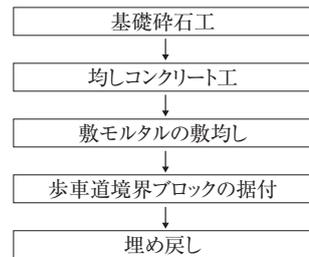
※6形暗渠の施工



※円形側溝の施工



※歩車道境界ブロックの施工



工程の短縮

■材料コスト比較（10m当たり）

※東海地方採用例(平成26年12月での比較)

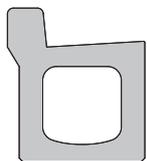
	6形暗渠	円形側溝
側溝製品	6形暗渠 f200-400A(2m)	プレキャスト円形側溝φ300
費用	27,800円×5本 = 139,000円	16,100円×10m = 161,000円
境界ブロック	-	歩車道境界ブロックB
費用	-	910円×16.6本 = 15,106円
合計	139,000円	176,106円
比率	78%	100%

約22%のコスト削減

さらに工期の短縮も見込めます！

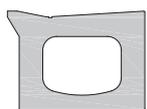
6形暗渠

■設計条件



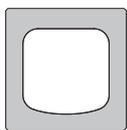
標準用、取水用、水抜き用、
集水柵

荷重 : T-25(後輪1輪荷重50kN)
荷重方向 : 縦断方向
衝撃係数 : $i = 0.1$
設置箇所 : 車両が隣接して走行することはまれで
一時退避などで低速で走行する場所。



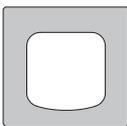
乗入用、斜乗入用

荷重 : T-25(後輪1輪荷重50kN)
荷重方向 : 乗入方向
衝撃係数 : $i = 0.1$
設置箇所 : 歩行者乗入箇所(横断歩道など)
民家・車両乗入箇所(道路横断以外の箇所、施設などの乗入)。
ただし、大型車両などが頻繁に乗入れる場合には横断用の使用
をご検討下さい。



アスコン横断用
(土被り4cm以上)

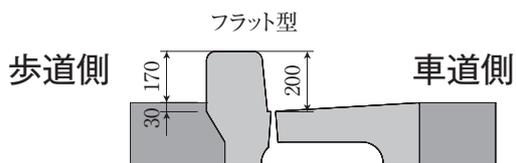
荷重 : T-25(後輪1輪荷重50kN)
荷重方向 : 横断方向
衝撃係数 : $i = 0.3$
設置箇所 : アスコン横断用は、4cm以上の舗装厚を土被りとして使用して
ください。
また土被りに応じた構造計算も行います。



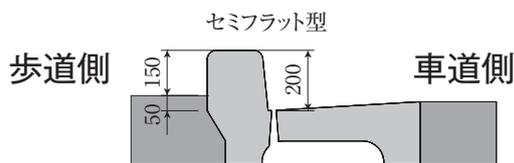
横断用 II型
(土被り0cm~)

荷重 : T-25(後輪1輪荷重50kN)
荷重方向 : 横断方向
衝撃係数 : $i = 0.3$
設置箇所 : 道路横断箇所。
大型車両が頻繁に出入りする乗入箇所など。

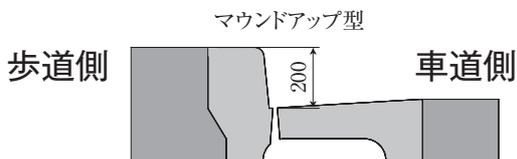
■歩道の構造



車道面と歩道面の高低差を3cmとしたもの



車道面と歩道面の高低差を5cmとしたもの

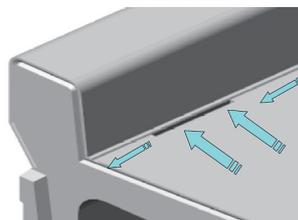


歩道面を車道面より高としたもの

■スリットの構造

標準用、水抜き用、乗入用、斜乗入用で
スリット付きも対応可能です。

エプロン端部の導入溝がスリット穴
への排水をうながします。

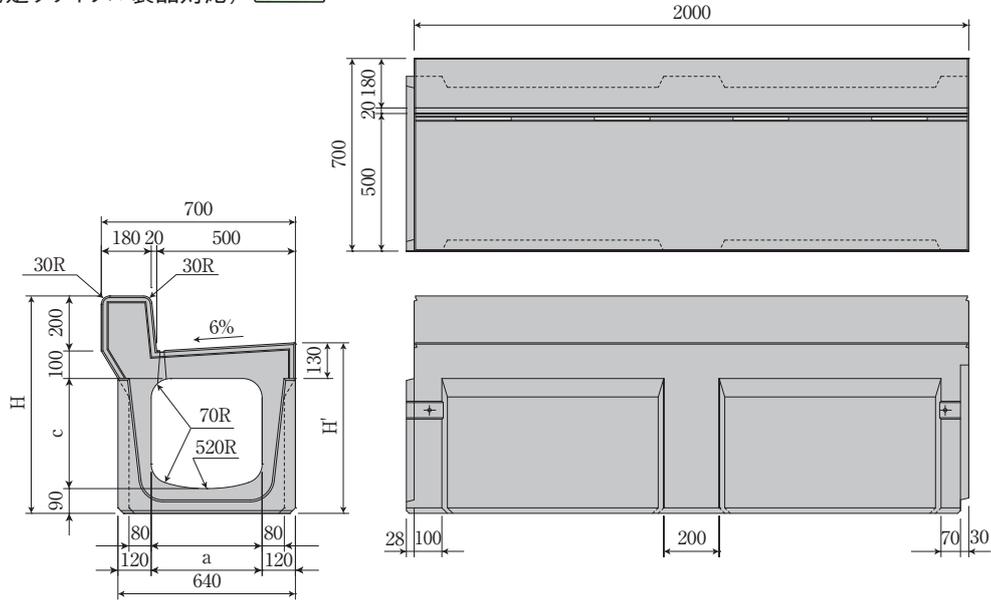


6形暗渠

※フラット、セミフラット型兼用

■標準用

(三重県認定リサイクル製品対応)



(mm)

呼び名	a	c	H	H'	参考重量 2.0m
f200-400A	400	300	690	520	1082kg
f200-400B	400	400	790	620	1167kg

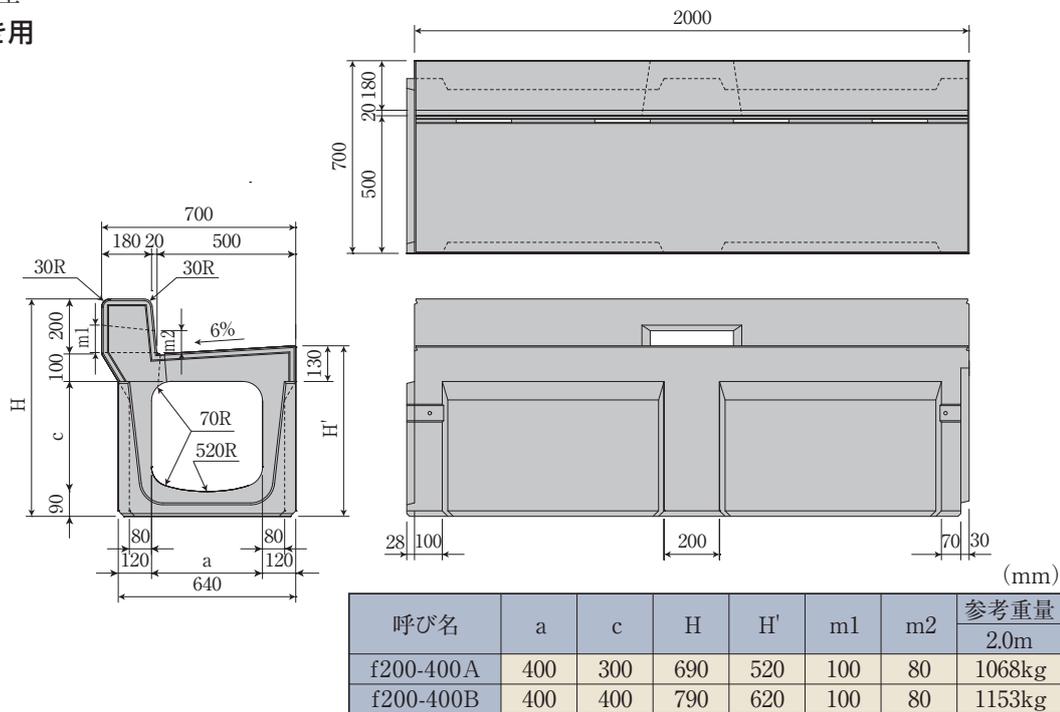
※マウンドアップ製品に関しましては、担当営業にお問い合わせください。



6形暗渠

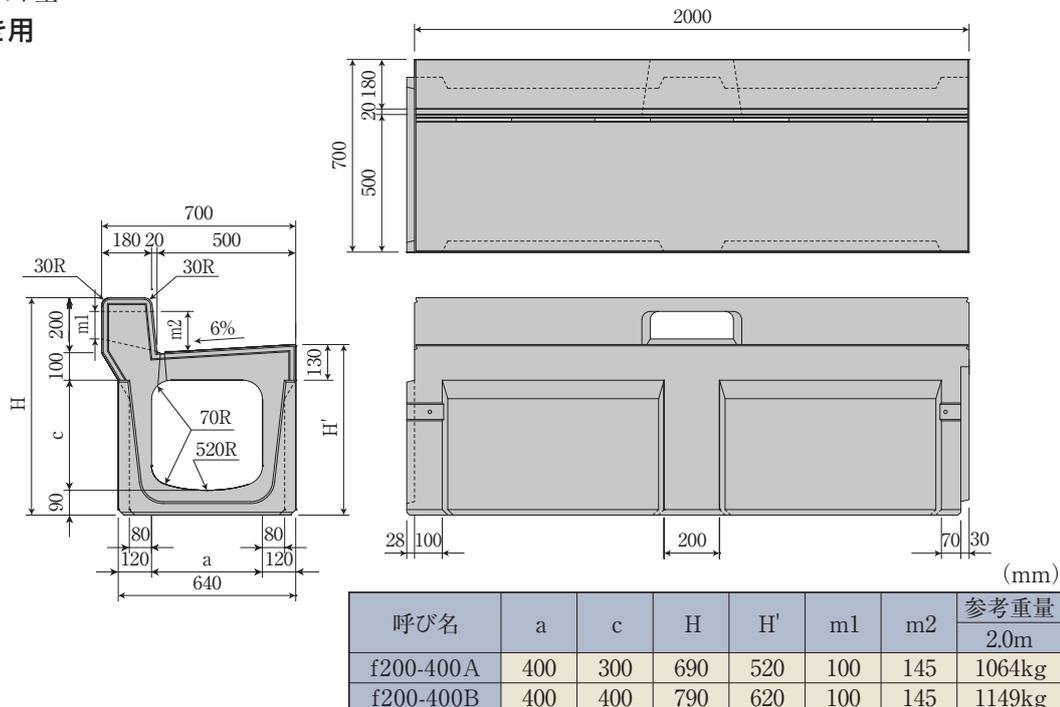
※フラット型

■水抜き用



※セミフラット型

■水抜き用

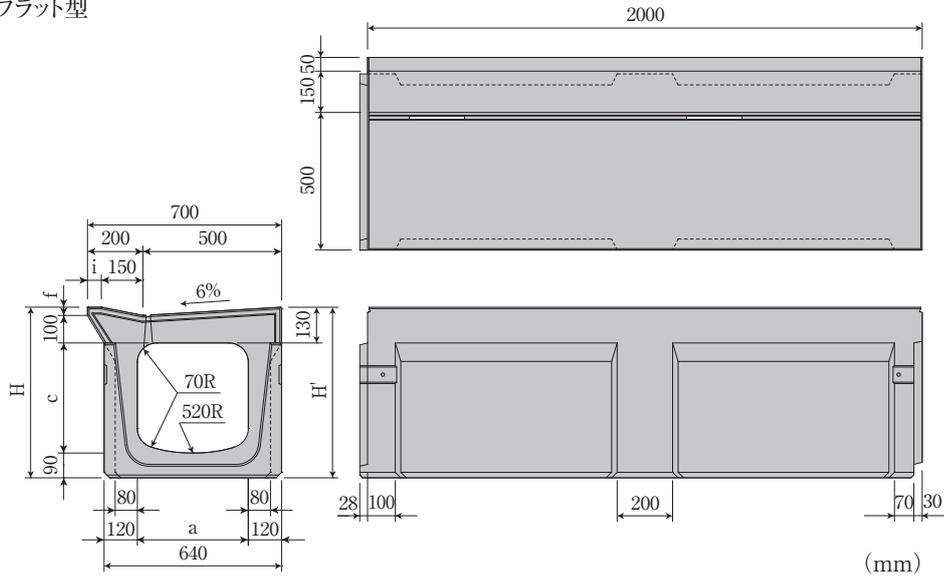


□水抜き穴形状



6形暗渠

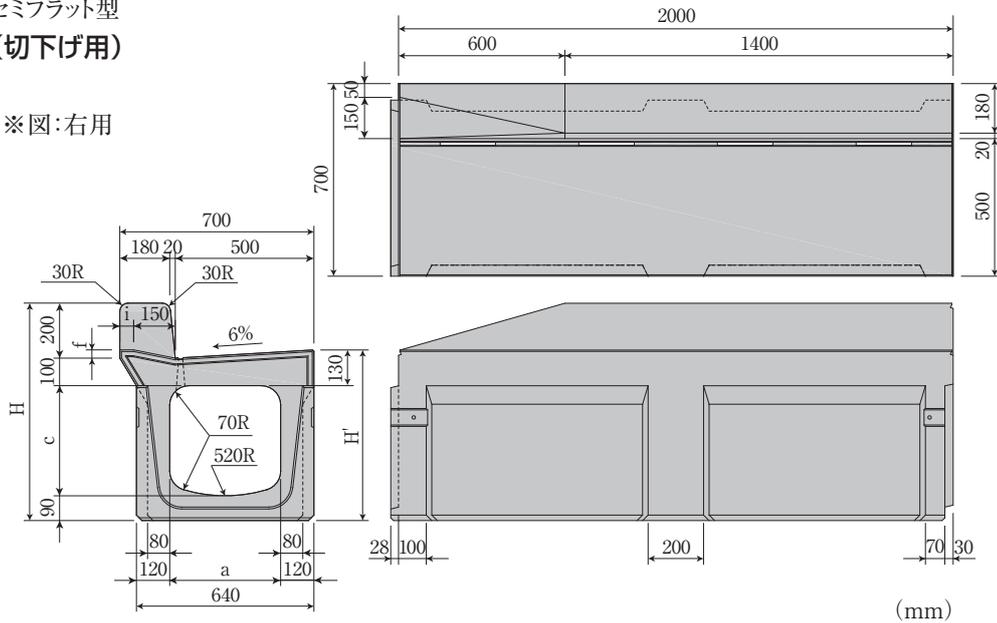
※フラット型、セミフラット型
■乗入用



種類	呼び名	a	c	H	H'	f	i	参考重量
								2.0m
フラット型	f200-400A	400	300	520	520	30	50	926kg
セミフラット型	f200-400A	400	300	520	520	50	60	944kg

※フラット型、セミフラット型
■斜乗入用(切下げ用)

※図:右用



種類	呼び名	a	c	H	H'	f	i	参考重量
								2.0m
フラット型	f200-400A	400	300	520	520	30	50	1059kg
セミフラット型	f200-400A	400	300	520	520	50	60	1062kg

□斜乗入用(切下げ用)の向き

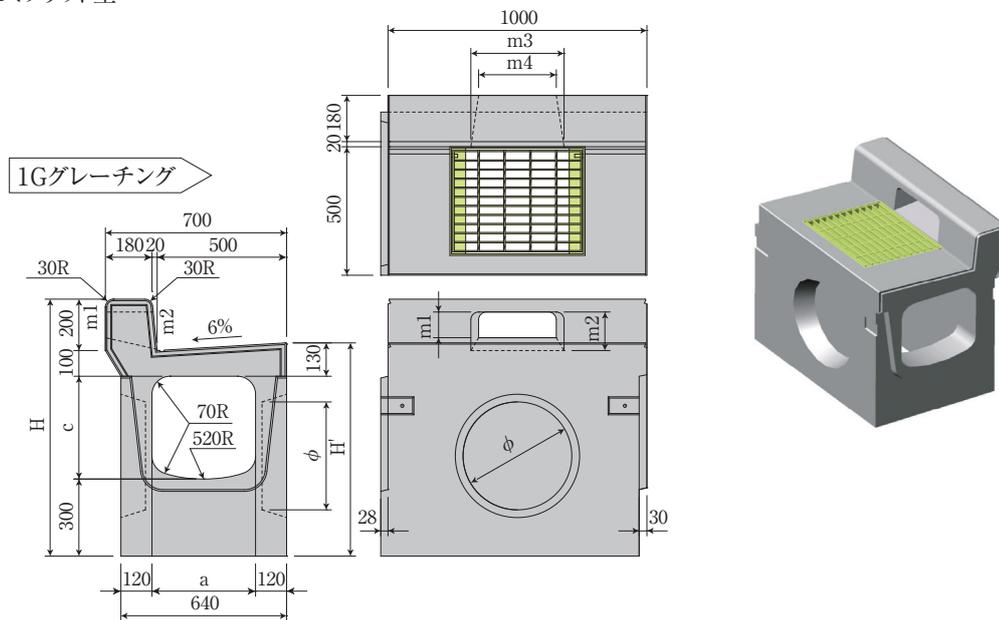


車道側から歩道側に向かって左側に設置するのが「左用」、右側に設置するのが「右用」となります。

6形暗渠

※フラット、セミフラット型

■集水柵



(mm)

種類	呼び名	a	c	H	H'	φ	参考重量
							1.0m
フラット型	f200-400A	400	300	900	730	370	609kg
セミフラット型	f200-400A	400	300	900	730	370	612kg

※製品の底部に5cm以上のインパットコンクリートを打設してください。

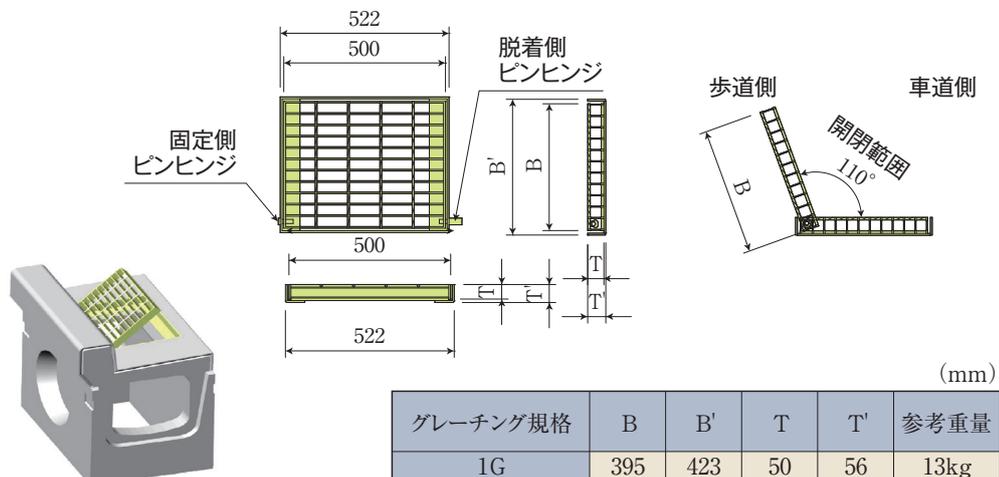
【水抜き寸法】

(mm)

種類	m1	m2	m3	m4
フラット型	100	80	300	300
セミフラット型	100	145	360	300

■開閉式グレーチング

開閉式グレーチングは、集水柵・取水用に取り付けられ、ピンヒンジにてグレーチング蓋の脱着が可能です。また、細目タイプやノンスリップなどの仕様もご用意できます。



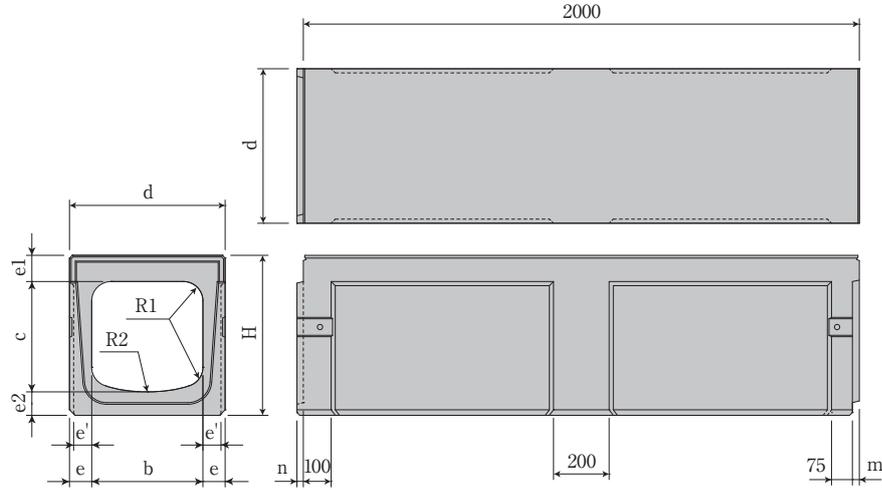
(mm)

グレーチング規格	B	B'	T	T'	参考重量
1G	395	423	50	56	13kg

6形暗渠

■アスコン横断用

土被り4cm以上



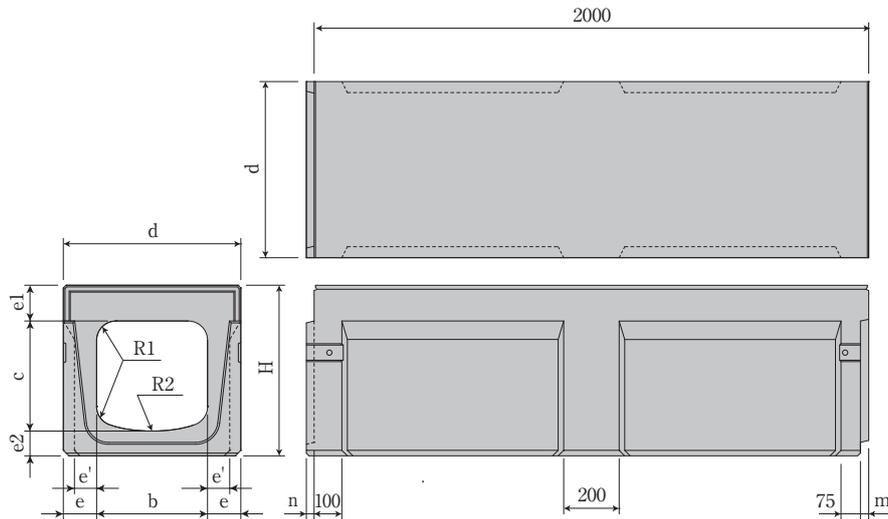
(mm)

呼び名	b	c	d	e	e'	e1	e2	H	R1	R2	m	n	参考重量
													2.0m
400A	400	300	640	120	80	90	90	480	70	520	30	28	833kg
400B	400	400	640	120	80	90	90	580	70	520	30	28	920kg

※アスコン横断用を接続した場合、頂版天端にて段差が生じますので天端をアスファルト舗装などで覆って下さい。

■横断用 II型

土被り0cm～

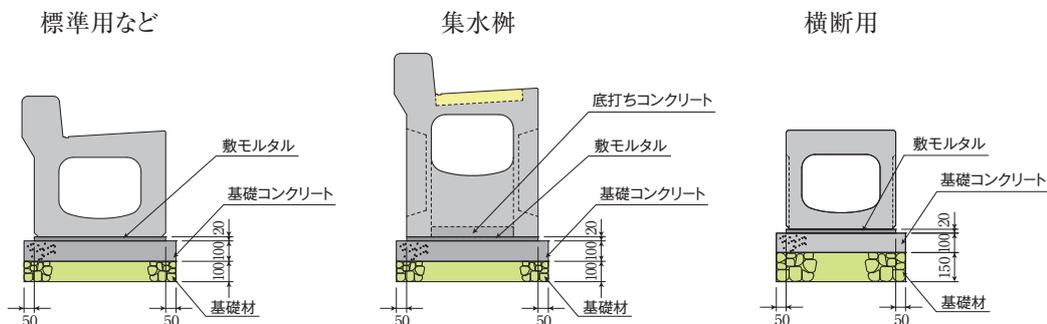


(mm)

呼び名	b	c	d	e	e'	e1	e2	H	R1	R2	m	n	参考重量
													2.0m
II-400A	400	300	640	120	80	130	90	520	70	520	30	28	953kg
II-400B	400	400	640	120	80	130	90	620	70	520	30	28	1040kg

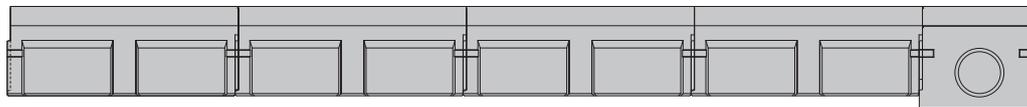
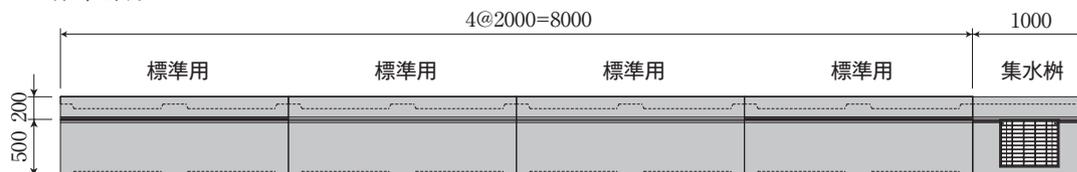
6形暗渠

■標準構造図



■使用例

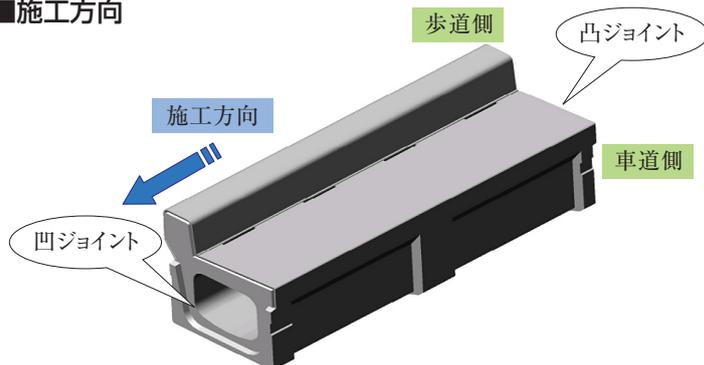
※標準部分



※横断部分



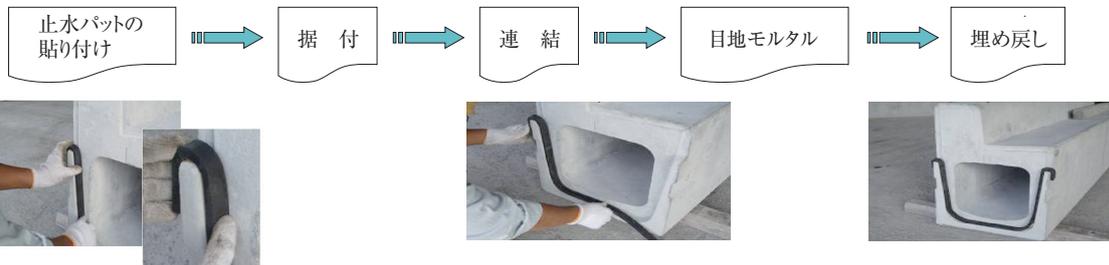
■施工方向



6形暗渠は、凹凸ジョイントによる落とし込み接続形式としているため、施工方向(据付方向)は1方向に限定されます。凹ジョイントに凸ジョイントを落とし込みますので、施工方向は、車道側から6形暗渠を見た場合、右から左に向かったの施工(据付)となります。

6形暗渠

■施工方法



凹ジョイントをウエスなどで清掃し、止水パットが5～10cm程度はみ出すような状態から貼り始めて下さい。



パットが緩まないように、凹ジョイント形状にそって貼り進めて下さい。



貼り付け完了

■吊り上げ

- 手順1 - キャップを外し、JLアイビーを取り付けて下さい。
- 手順2 - シャックルをJLアイビーに取付け、取付け位置に応じたワイヤーロープをご使用下さい。
- 手順3 - JLアイビーを取外し、インサート孔をモルタルで埋めて下さい。
(モルタルは、セメント1:砂2程度が良好です)



■吊り上げ時の使用金具一覧

呼び名		JLアイビー(※1)	シャックル(※2)	ワイヤーロープ(※3)
f200-400A・B		M16-2ヶ	呼び16以上-2ヶ	2本
横断用	400A・B			2本

- ※1: JLアイビー1個による垂直吊り及び2個による45°吊りの使用荷重は630kgfです。
JLアイビーとアイボルトは異なりますので、アイボルトを吊り金具として使用にならないで下さい。
- ※2: シャックルは、『JIS B 2801 SC型など 呼び16以上』のものをご使用下さい。
- ※3: ワイヤーロープは、『JIS G 3525 6×24 径12mm以上』のものをご使用下さい。
なおワイヤーロープは1.5m以上のものをご使用下さい。

■据付

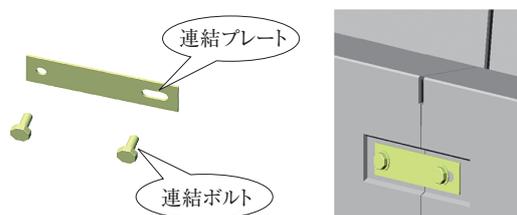


凸ジョイント側を凹ジョイント側に軽く当てるように合わせます。

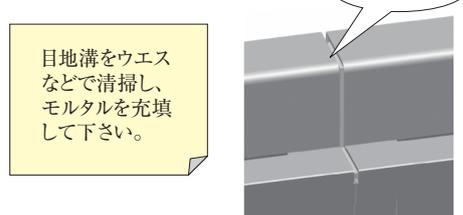
止水パットが剥がれないようにゆっくり落とし込みます。

開きや製品の通りを確認し、必要に応じて修正を行なってください。

■連結



■目地モルタル



目地溝をウエスなどで清掃し、モルタルを充填して下さい。